

取組みのカテゴリ

安全衛生方針の表明

危険の見える化

企業情報

所在地：東京都

従業員：100名

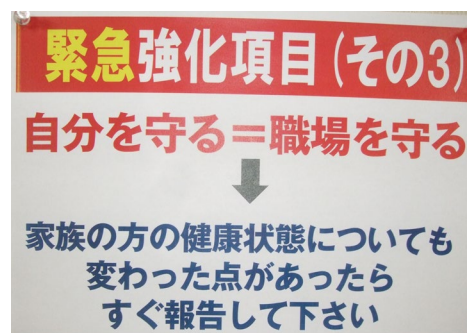
背景

労働安全に取組む直接的なきっかけはありませんが、LPGの供給をはじめとした社会インフラを支える企業として、スーパーマーケット事業では、地域の「食」を支えるためにお客様、従業員の安全確保と維持の取組みを日常的に取組んでいます。

取組内容

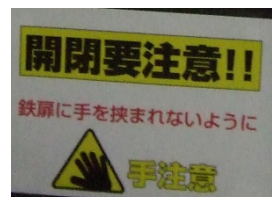
1. 【トップの安全衛生への意志表示】

- 従業員がケガや病気で働けなくなると地域の「食」を支えることができなくなるという考え方から、そうしたリスクに徹底して対策を講じています。
- 「従業員を絶対を守る姿勢」を伝達と具体的取組で示しています。
- 朝礼や勉強会でスーパーの責任者が安全衛生に関する考えを必ず話し、従業員に周知しています。
- 最近では、本社及び全店舗の新型コロナウイルス感染症対策を徹底しています。対策は、店舗内だけでなくバックヤードや休憩室など感染リスクのある個所まで徹底しています。
- 徹底した取組みが評価され、マスコミにも取り上げていただきました。
- こうした会社の本気の取組みを継続してきた結果、外部からの評価も相まって、従業員の意識の啓蒙につながり、安全な風土をつくることができました。



2. 【危険の見える化】

- 多店舗展開しているため、職場環境の把握、従業員との対話を常にすることができないため、危険な作業や場所には徹底的に掲示して注意喚起を行っています。
- 特に、過去に労働災害が発生した場所には、危険の見える化に取り組んでいます
- 従業員は、危険な作業・場所では注意深く行動する意識が根付きました。



安全の成果

- 平均勤続年数が約 15 年と従業員の定着率が高く、安全意識がしっかり根付いている
- 結果的にここ 10 年間、労働災害が起きていない

副次的効果

- 長く働いていただいている方が多く、人材確保には困らなくなった
- 労働災害で休業することがほとんどないため、計画通りの生産性が維持できるようになった

取材年月：2021年2月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。